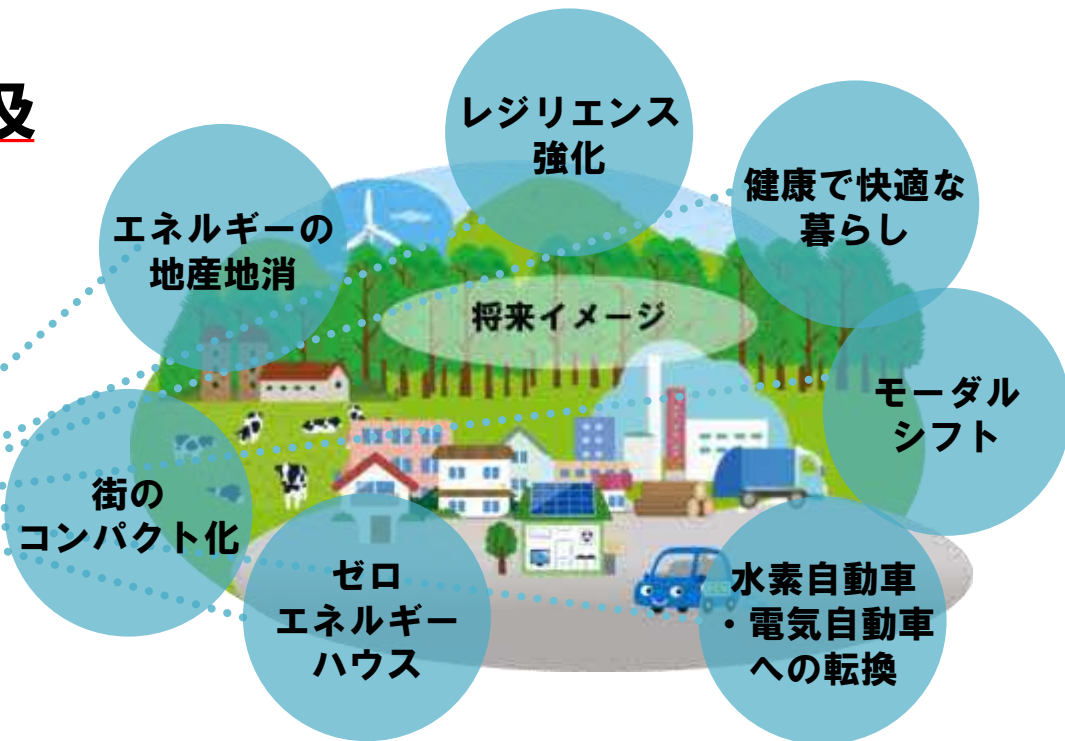
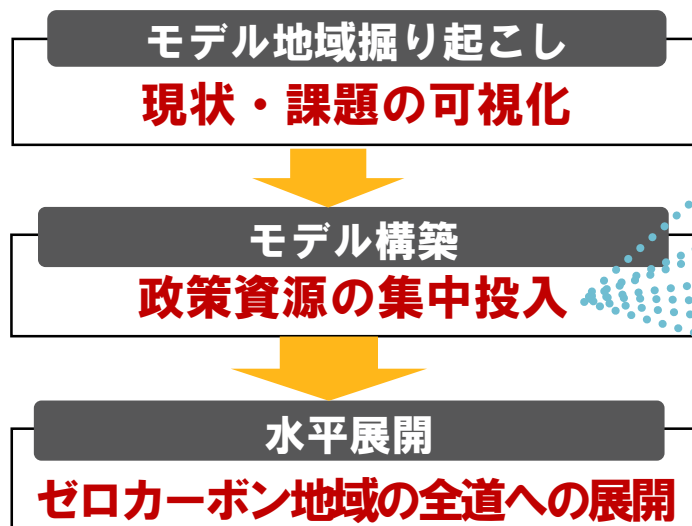


● 事業の概要①（脱炭素モデルの創出・普及）

背景

- 2050年までの「**ゼロカーボン北海道**」の実現に向けては、施策や資源を集中的に投入していくほか、地域特性を踏まえた「**脱炭素モデル**」を道内各地に広げ、**全道的な取組につなげていくことが必要**。
- その着実な遂行に向けては環境・エネルギー分野の他、**様々な施策を分野横断的に進めることが必要**。
- 今後の地域の将来像にも大きく関わってくるため、**市町村ごとの状況を把握しておくことが必要**。

脱炭素モデルの創出・普及



● 事業の概要②（令和3年度事業内容）

目的

- ① **脱炭素のトップランナーとなる地域の発掘**及び**道が支援すべき施策の提案**。
- ② 脱炭素に向けた施策を行う際の基礎となる**市町村ごとの情報を収集し、可視化**。

北海道特有の地域構造別に
脱炭素モデル地域候補を選定

モデル地域候補ごとに
将来ビジョンを策定

道が支援すべき
施策の提案

大都市
集約型

中山間
集落型

地方
都市型
観光
振興

地方
都市型
工業
地域

地方
都市型
市街地
分散

分野横断的

環境

地域資源の
利活用

- ・地域の脱炭素化
- ・再エネの導入拡大
- ・次世代自動車

社会

- ・少子高齢化
- ・防災強化
- ・地域交通

地域特性

経済

- ・イノベーション
- ・ESG投資
- ・地域振興

地方創生

モデル地域を支援し、
全道へ展開
ゼロカーボン北海道
の実現へ！

課題・リソースを把握

<実現可能性の検討>

- ・GHG排出量、再エネポテンシャル、森林吸収量について把握と分析
- ・事業内容・事業推進体制
- ・期待される効果（GHG削減量）等

可視化

● 事業の概要③（令和3年度委託業務実施フロー）

モデル地域選定

① 脱炭素地域実現可能性の検討（15地域程度）

8月上旬

運営（資料作成・連絡調整等）

有識者会議



2回程度（方針検討・結果検討）

✓構造別にモデル地域候補を選定（6地域程度）

② 地域構造別の広域自治体が実施すべき脱炭素支援策の検討

10月上旬
（中間）

運営（資料作成・連絡調整等）

有識者会議



2回程度（方針検討・結果検討）

✓支援策の実現可能性を検討
✓モデル地域を選定

2月下旬
（最終）

モデル地域を確定、各種支援策構築

基礎調査

③ 道の脱炭素化に向けた施策に資する基礎資料の作成

2月下旬
（最終）